

(様式第1号別紙1)

「聖風会」介護員養成研修初任者課程（通学）カリキュラム表

科(科目)名	内 容	実施計画	科目番号
(1)職務の理解 (6時間)	①多様なサービスの理解	・「介護」とは？	(1)－①
	②介護職の仕事内容や働く現場の理解	・介護サービスの仕事とは？ ・介護の資格とキャリアシステム	(1)－②
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	①人権と尊厳を支える介護	・人権と尊厳の保持 ・QOL (Quality of life) の考え方 ・ノーマライゼーション・虐待防止、身体拘束禁止 ・個人の利権を守る制度の概要	(2)－①
	②自立に向けた介護	・自立支援 ・介護予防	(2)－②
(3)介護の基本 (6時間)	①介護職の役割、専門性と多職種との連携	・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護に関わる職種	(3)－①
	②介護職の職業倫理	・職業倫理	(3)－②
	③介護における安全の確保とリスクマネジメント	・介護労働における安全の確保 ・事故予防・安全対策・感染対策	(3)－③
	④介護職の安全	・介護職員のこころの健康管理 ・介護職員のからだの健康管理	(3)－④
(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	①介護保険制度	・介護保険制度創設の背景と目的 ・介護保険制度の動向 ・介護保険制度のしくみ① －保険システム、要介護認定、ケアマネジメント ・介護保険制度のしくみ② －介護報酬、財源、組織、その他 ・介護サービスの分類と種類 ・主な介護サービスの内容とサービス事業者・施設 ・保険給付以外の事業	(4)－①
	②医療との連携とリハビリテーション	・介護における医療と福祉の連携 ・介護職と医行為・リハビリテーション	(4)－②
	③障害者総合支援制度およびその他制度	・障害者自立支援制度の背景 ・障害者自立支援制度の基本的な構造 ・障害者自立支援制度のしくみと運営の現状 ・個人の権利を守るその他の制度	(4)－③
(5)介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	①介護におけるコミュニケーション	・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法 ・道具を用いたコミュニケーション ・利用者、家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況、状態に応じたコミュニケーションの実際	(5)－①
	②介護におけるチームのコミュニケーション	・記録による情報の共有化 ・介護サービスにおける報告、連絡、相談 ・コミュニケーションを促す環境（介護サービス現場の会議等）	(5)－②
(6)老化の理解 (6時間)	①老化に伴うこころとからだの変化と日常生活	・老化に伴うこころとからだの変化 ・老化に伴うこころとからだの変化と日常生活	(6)－①
	②高齢者と健康	・高齢者と健康 ・高齢者に多い病気と日常生活上の留意点	(6)－②

(7) 認知症の理解 (6時間)	① 認知症を取り巻く状況	・ 認知症ケアの理念	(7) - ①
	② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	・ 認知症の概念・ 認知症による障害・ 健康管理	(7) - ②
	③ 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	・ 中核症状・ 周辺症状・ 認知症の利用者への対応	(7) - ③
	④ 家族への支援	・ 家族への支援	(7) - ④
(8) 障害の理解 (3時間)	① 障害の基礎的理解	・ 障害の概念・ ICFの考え方・ 障害者福祉の基本理念	(8) - ①
	② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	・ 視覚障害・ 聴覚、平衡機能障害 ・ 音声、言語、咀嚼機能障害 ・ 肢体不自由・ 内部障害・ 障害の受容・ 知的障害 ・ 精神障害・ 高次脳機能障害・ 発達障害	(8) - ②
	③ 家族の心理、かかわり支援の理解	・ 家族の心理・ 家族への支援	(8) - ③
(9) ところとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	【ア 基本知識の学習 (12時間)】		
	① 介護の基本的な考え方	・ 理論と法的根拠に基づく介護	(9) - ①
	② 介護に関するところのしくみの基礎的理解	・ 学習と記憶の基礎知識・ 感情と意欲の基礎知識 ・ 自己概念と生きがい ・ 老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因	(9) - ②
	③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	・ 人体の各部の名称と働きに関する基礎知識 ・ 骨、関節、筋に関する基礎知識 ・ 中核神経と末梢神経系に関する基礎知識 ・ 自律神経と内部器官に関する基礎知識 ・ ところとからだを一体的にとらえる	(9) - ③
	【イ 生活支援技術の講義・演習 (51時間)】		
	④ 生活と家事	・ 家事と生活の理解 ・ 家事援助に関する基礎的知識と生活支援	(9) - ④
	⑤ 快適な居住環境整備と介護	・ 快適な住居環境に関する基礎知識 ・ 高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法	(9) - ⑤
	⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・ 整容に関する基礎知識 ・ 整容の支援技術	(9) - ⑥
	⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・ 移動、移乗に関する基礎知識 ・ さまざまな移乗、移動に関する用具とその活用方法 ・ 介護職員にとって負担の少ない移動、移乗の支援方法 ・ 移動と社会参加の留意点と支援	(9) - ⑦
	⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・ 食事に関する基礎知識 ・ 食事環境の整備、食事に関連した用具、食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ ・ 楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 ・ 食事と社会参加の留意点と支援	(9) - ⑧
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	・ 入浴、清潔保持に関する基礎知識 ・ さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法 ・ さまざまな入浴、清潔を保つための方法 ・ 楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法	(9) - ⑨	

	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 	(9)－⑩
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・さまざまな睡眠環境と用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法 	(9)－⑪
	⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ ・「死」に向き合うところの理解 ・苦痛の少ない死への支援 	(9)－⑫
【ウ 生活支援技術演習 (12時間)】			
	⑬介護過程の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の展開と基本的理解 ・介護過程の必要性とその流れ 	(9)－⑬
	⑭総合生活支援技術演習	<ul style="list-style-type: none"> ・事例による展開 (介護ポイントの把握) ・理解度チェック ・介護実習 (介護老人施設・障害者支援施設:8H) 	(9)－⑭
(10)振り返り	①振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・習得の再確認 (理解度チェックのフォロー) 	(10)－①
(4時間)	②就業への備えと研修修了後における継続的な研修	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的学習とステップアップの方法 	(10)－②

※1 実施計画欄に、申請者が実施する研修内容を記載すること。

※2 実習を行う場合は、「(9) ところとからだのしくみと生活支援技術」内の「ウ 生活支援技術演習」内で、12 時間以内とする。

※3 実習受入担当者による指導ではなく、研修担当講師による指導の一環として行われる施設の見学は、「(1) 職務の理解」及び「(10) 振り返り」で行うことができる。